

令和6(2024)年度決算と経営戦略収支計画比較

会計名 用地造成事業

(単位: 百万円、収益的収支は税抜表示、資本的収支は税込表示)

(1) 収益的収支

		計画額 A	当 初 予算額	決算額 B	B-A	備考
収 入	分譲収益	1,453	0	0	▲ 1,453	・分譲収益は、鹿沼インター産業団地の分譲前倒し等による減
	その他収入	420	28	29	▲ 391	
	計	1,873	28	29	▲ 1,844	
支 出	人件費	54	61	49	▲ 5	・分譲原価は、鹿沼インター産業団地の分譲前倒し等により減
	分譲原価	1,228	0	0	▲ 1,228	
	その他支出	543	106	104	▲ 439	
	計	1,825	167	153	▲ 1,672	
経 常 損 益		48	▲ 139	▲ 124	▲ 172	

(2) 資本的収支

		計画額 A	当 初 予算額	決算額 B	B-A	備考
収 入	借入金	860	1,972	1,238	378	・借入金は、事業の進捗状況にあわせて増 ・その他収入は、予約分譲による分譲前受金等により増
	その他収入	550	541	934	384	
	計	1,410	2,513	2,172	762	
支 出	建設改良費	1,561	2,538	1,404	▲ 157	・建設改良費は、造成工事の繰越し等により減 ・借入金償還金は、繰上償還を行わなかったことにより減
	借入金償還金	1,110	0	0	▲ 1,110	
	その他支出	0	5	0	0	
	計	2,671	2,543	1,404	▲ 1,267	
差引		▲ 1,261	▲ 30	90	1,351	

・決算額の差引は、資本的収入から翌年度繰越財源(678百万円)を除いて算出

剰 余 金 残 高	245		603	358	
-----------	-----	--	-----	-----	--

・平成28年度からの積み上げによる(剰余金の処分は考慮しない)。

借 入 金 残 高	6,771		5,298	▲ 1,473	
-----------	-------	--	-------	---------	--

経営指標による経営状況

	収益性			安全性	
	経営資本 営業利益率 ・経営資本でどれだけの営業利益を上げたかで、高いほど良好	営業収支比率 ・営業活動の能率で、高いほど良好	経常収支比率 ・経常的な企業活動の効率性で、高いほど良好	流動比率 ・短期的な支払能力で、高いほど経営基盤は安定	自己資本構成比率 ・総資本に対する自己資本の割合で、高いほど経営基盤は安定
	(単位: %)				
令和2年度決算値	▲ 1.46	32.76	38.95	111.82	27.31
令和3年度決算値	▲ 1.54	48.10	37.41	150.75	25.27
令和4年度決算値	9.07	111.90	120.91	165.80	37.32
令和5年度決算値	0.92	102.15	100.26	375.16	43.67
令和6年度決算値	▲ 2.07	21.34	19.05	276.33	37.68
説明	鹿沼インター産業団地(第1期)の分譲を令和5年度に前倒したことにより、分譲収益がなかったため、事業の収益性を示す経営資本営業利益率、営業収支比率、経常収支比率の3指標は、前年度と比べて低い値となったが、令和7年度は同団地(第2期)の分譲予定があり、分譲収益が確保できる見通しであることから、経営状況は改善する見込みである。 また、経営の安全性を示す自己資本構成比率は、用地費等の企業債借入等のため前年度と比べて低い値となったが、流動比率は100%を超えており、短期的な支払能力を維持しているため、経営基盤は安定しているといえる。				

※ 営業収支比率: 単年度営業収支の黒字を示す100%以上が必要

※ 経常収支比率: 単年度収支の黒字を示す100%以上が必要

※ 流動比率: 短期的に支払うべき債務を支払える現金等がある状況を示す100%以上が必要

用地造成事業 目標の達成状況

1 財務面に係る評価

目標の達成状況

	【目標】 財務基盤強化のため、5か年で合計1億円の経常利益を確保します。
決算累計値	511百万円
評価	A
評価に係る説明	令和6年度は経常損失を計上したが、経営戦略期間の5か年中に、1億円の経常利益を確保できる見込みであることから、A評価とした。

2 事業面に係る評価

(1) 目標の達成状況

	分譲面積	案内可能面積	企業誘致活動		
			HPアクセス件数※1	企業等訪問件数※2	メールマガジン送信件数
目標値	計画累計値 28.4 ha 5か年で合計34.8ha分譲	毎年度、8ha以上確保 R6年度計画値 10.8ha	R6年度 8,500件	R6年度 80件	R6年度 500件
実績(累計)値	累計 30.6ha	R6年度 0.0ha	R6年度 11,459件	R6年度 46件	R6年度 585件
評価	A	C	A	C	A
評価に係る説明	鹿沼インター産業団地(第1期)分譲を前倒して分譲したことにより、分譲がなかったものの、計画累計値を達成しているため、A評価とした。 鹿沼インター産業団地(第2期)の案内を前倒して実施したことにより、令和6年度の案内可能面積がなかったため、C評価とした。 HPアクセス件数及びメールマガジン送信件数については、目標値を上回ったためA評価とした。企業等訪問件数については、分譲前倒しの結果、訪問件数が少なかったため、目標値を下回りC評価とした。				

※1 各団地の案内ページ及び団地案内動画サイトのアクセス件数

※2 企業、ゼネコン、金融機関及び不動産取扱い業者への訪問の他、リモート等による誘致活動を含む

(2) 取組実績等

※ 下線は新規事項

経営方針	令和6(2024)年度の実績	令和7(2025)年度の実績予定
とちぎの産業躍進を支える立地環境の整備	○企業のニーズ把握のための情報収集 ▶関連企業(ゼネコン、金融機関等)との継続的な情報交換 ○市町の産業団地に係る構想段階からの助言・意見交換 ○魅力ある産業団地の整備 ▶造成工事(鹿沼インター産業団地、みぶ中泉産業団地) ▶事業実施決定(あしかが久保田産業団地)	○企業のニーズ把握のための情報収集 ▶関連企業(ゼネコン、金融機関等)との継続的な情報交換 ○市町の産業団地に係る構想段階からの助言・意見交換 ○魅力ある産業団地の整備 ▶造成工事(鹿沼インター産業団地、みぶ中泉産業団地) ▶実施設計、用地取得(あしかが久保田産業団地)
新たな日常に対応した企業誘致活動の実施	○立地環境の優位性PR ▶各種メディア(新聞、インターネット、メールマガジン等)を活用したPR活動 ▶<u>みぶ中泉産業団地の地形や地質状況を解説したゼネコン向けのパンフレットを作成</u> ○デジタル技術を活用した企業誘致活動 ▶メールマガジン配信	○立地環境の優位性PR ▶各種メディア(新聞、<u>経済専門誌</u>、インターネット、メールマガジン等)を活用したPR活動 ▶<u>みぶ中泉産業団地において、企業ニーズに柔軟に対応するための新たな取組として、複数の区画パターンから選択できる「区画パターン選択方式」による予約分譲を実施</u> ○デジタル技術を活用した企業誘致活動 ▶メールマガジン配信 ▶<u>SNSを利用した情報提供</u> ▶<u>YouTubeを利用した動画配信</u>
利益確保による経営基盤の強化	○地元市町との細目協定(役割分担)に基づく事業執行 ▶鹿沼市(鹿沼インター産業団地) ▶壬生町(みぶ中泉産業団地) ○建設発生土の工事間利用の推進による経費節減 ▶鹿沼インター産業団地	○地元市町との細目協定(役割分担)に基づく事業執行 ▶鹿沼市(鹿沼インター産業団地) ▶壬生町(みぶ中泉産業団地) ▶<u>足利市(あしかが久保田産業団地)</u> ○建設発生土の工事間利用の推進による経費節減 ▶鹿沼インター産業団地 ▶<u>みぶ中泉産業団地</u>

経営方針	令和6(2024)年度の実績	令和7(2025)年度の実績予定
SDGs 達成への貢献 	○企業誘致推進による産業の成長と雇用創出への貢献 ▶各産業団地のPR活動 ○環境学習活動や森林保全活動の支援 ▶とうぶの森とちぎ中央に係る森林保全活動の支援	○企業誘致推進による産業の成長と雇用創出への貢献 ▶各産業団地のPR活動 ○環境学習活動や森林保全活動の支援 ▶とうぶの森とちぎ中央に係る森林保全活動の支援

3 総合評価

自己評価等						
1 財務面に係る評価 目標の達成状況 ・令和6年度は経常損失を計上したが、経営戦略期間の5か年中に、1億円の経常利益を確保できる見込みとなった。			2 事業面に係る評価 (1)目標の達成状況 ・企業ニーズを的確に捉え誘致及び分譲前倒しに努めた結果、分譲面積について計画累計値を上回った。 ・計画を前倒して予約分譲を行ったため、令和6年度に案内可能な産業用地がなかった。 (2)事業の取組実績等 ・市町との役割分担に基づき、計画的に産業団地整備を行った。			評価
						B
評価委員会の評価等						
【財務面】 経営戦略期間の5か年中に1億円以上の経常利益を確保し、目標を達成する見込みである。 【事業面】 誘致及び分譲前倒しに努めた結果、分譲面積について計画累計値を上回った。令和6年度に案内可能な産業用地がなかったが、計画を前倒して予約分譲を行ったことに伴うものであり、企業ニーズに的確に対応したことは大いに評価できる。 【取組実績】 計画的に産業団地を整備している。						評価
						B
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	
自己評価	B	A	A	B		
評価委員会の評価	B	A	A	B		

今後の取組課題・改善点等

- ・鹿沼インター産業団地の造成完了・土地引渡しにより、収益確保を図る。
- ・みぶ中泉産業団地の分譲に向けて、デジタル技術も活用しながら企業誘致活動を展開し、早期分譲に結び付ける。
- ・あしかが久保田産業団地の早期整備に努めるとともに、市町の新たな産業団地構想に係る相談に積極的に対応し、選ばれる産業団地の整備に取り組む。
- ・持続可能な社会の実現に向けて、用地造成事業を通じたSDGs達成に貢献する。
- ・次期戦略における中期的な指標や評価方法を検討する。

○ 収支の状況

(1) 収益的収支

(単位:百万円)

			令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
収 入	分 譲 収 益	計 画 額		736	1,896	1,154	1,453	1,185
		当初予算額		736	3,948	1,943	0	
		決 算 額	16	48	3,970	1,919	0	
	そ の 他 収 入	計 画 額		18	20	20	420	20
		当初予算額		20	26	28	28	
		決 算 額	43	26	390	30	29	
支 出	人 件 費	計 画 額		61	54	54	54	54
		当初予算額		61	48	49	61	
		決 算 額	57	68	49	76	49	
	分 譲 原 価	計 画 額		607	1,583	955	1,228	1,015
		当初予算額		607	3,459	1,796	0	
		決 算 額	17	52	3,146	1,775	0	
	そ の 他 支 出	計 画 額		110	171	123	543	125
		当初予算額		112	92	117	106	
		決 算 額	77	78	411	93	104	
経 常 損 益		計 画 額		▲ 24	108	42	48	11
		当初予算額		▲ 24	375	9	▲ 139	
		決 算 額	▲ 92	▲ 124	754	5	▲ 124	
剰 余 金 残 高			92	▲ 32	722	727	603	

・平成28年度からの積み上げによる(剰余金の処分は考慮しない)。

(2) 資本的収支

(単位:百万円)

			令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
収 入	借 入 金	計 画 額		1,553	808	1,025	860	1,551
		当初予算額		1,553	537	352	1,972	
		決 算 額	517	1,104	0	0	1,238	
	そ の 他 収 入	計 画 額		218	370	311	550	390
		当初予算額		218	330	381	541	
		決 算 額	556	128	956	395	934	
支 出	建 設 改 良 費	計 画 額		1,817	1,271	1,907	1,561	1,806
		当初予算額		1,817	786	780	2,538	
		決 算 額	759	1,415	2,067	759	1,404	
	借 入 金 償 還 金	計 画 額		688	1,632	674	1,110	1,110
		当初予算額		688	3,881	1,895	0	
		決 算 額	100	0	2,609	94	0	
	そ の 他 支 出	計 画 額		5	0	0	0	0
		当初予算額		5	5	5	5	
		決 算 額	0	0	0	0	0	
差 引		計 画 額		▲ 739	▲ 1,725	▲ 1,245	▲ 1,261	▲ 975
		当初予算額		▲ 739	▲ 3,805	▲ 1,947	▲ 30	
		決 算 額	▲ 157	▲ 183	▲ 3,720	▲ 793	90	

借 入 金 残 高	5,659	6,763	4,154	4,060	5,298	
-----------	-------	-------	-------	-------	-------	--

- ・借入金及び借入金償還金には借換え分を含まず
- ・令和2年度の資本的収支に分譲前受金は含まず
- ・令和5年度及び令和6年度の決算額の差引は、資本的収入から翌年度繰越財源を除いて算出

○ 経営指標による経営状況

(単位: %)

		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
経営資本営業利益率	決 算 値	▲ 1.46	▲ 1.54	9.07	0.92	▲ 2.07	
営業収支比率	決 算 値	32.76	48.1	111.90	102.15	21.34	
経常収支比率	決 算 値	38.95	37.41	120.91	100.26	19.05	
流動比率	決 算 値	111.82	150.75	165.80	375.16	276.33	
自己資本構成比率	決 算 値	27.31	25.27	37.32	43.67	37.68	

○ 財務面に係る目標の達成状況

(単位: 百万円)

		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
5か年で合計1億円	計 画 累 計 値		▲ 24	84	126	174	185
	決 算 累 計 値		▲ 124	630	635	511	(580)
	評 価		C	A	A	A	

※ 括弧書きは現時点における見込値

○ 事業面に係る目標の達成状況

		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
分譲面積 5か年で合計34ha分譲	計 画 累 計 値		4.1ha	14.3ha	20.5ha	28.4ha	34.8ha
	実 績 累 計 値	0.0ha	0.0ha	20.7ha	30.6ha	30.6ha	
	評 価		C	A	A	A	
案内可能面積 毎年度、8ha以上確保	計 画 値		14.3ha	8.1ha	10.9ha	10.8ha	13.4ha
	実 績 値	14.3ha	21.6ha	20.4ha	9.8ha	0.0ha	
	評 価		A	A	A	C	
企業誘致活動 (HPアクセス件数)	目 標 値		9,000件	8,500件	14,000件	8,500件	14,000件
	実 績 値	8,389件	8,431件	8,739件	15,979件	11,459件	
	評 価		B	A	A	A	
企業誘致活動 (企業等訪問件数)	目 標 値		80件	80件	130件	80件	130件
	実 績 値	63件	80件	83件	57件	46件	
	評 価		A	A	C	C	
企業誘致活動 (メールマガジン送信件数)	目 標 値		500件	500件	500件	500件	500件
	実 績 値	427件	1,029件	756件	858件	585件	
	評 価		A	A	A	A	